

# H1essential 各部紹介

## XY ステレオマイク

自然な奥行きと広がりをもった立体的なサウンドで録音できます

## ローカット

屋外での風の音や冷蔵庫の低周波ノイズを防ぐことができます（室内における吹奏楽の練習時は OFF を推奨）

## ステレオ / モノ

録音形式をステレオまたはモノラルのどちらか選択できます（吹奏楽ではステレオを選択します）

## 停止

録音を停止することができます

## 早戻し

再生中にこのボタンを長押しすると、早戻しすることができます

## マーカー

録音中にこのボタンを押すとマークが付けられます

## ゴミ箱

録音したファイルをゴミ箱に移動します

## 再生 / 一時停止

録音したファイルを再生します。曲を再生中にこのボタンを押すと、一時停止することができます

## 録音

このボタンを押すと録音が始まります

## 早送り

再生中にこのボタンを長押しすると、早送りすることができます



# #1 録音の手順

## 🎵 3ステップで覚えよう

### ① 電源を入れる

電源スイッチをスライドして起動します



### 【単4電池×2つ】



H1 essential は単4電池2本で約10時間駆動します。またUSB経由の電源供給でも動作します

### ② 録音する

中央の「録音」ボタンを押します



### 【三脚を活用しよう】



H1 essential は、XYステレオマイクの部分を演奏者に向けて、耳の高さくらいにセットするのが基本です

### ③ 録音を止める

再度「録音」ボタンまたは「停止」ボタンを押します



### 【SDカードについて】



録音データを記録するためのSDカードには「microSDHC」または「microSDXC」が利用できます

# #2 録った音を聴く

## ♪ ヘッドフォンや PA スピーカーで確認しよう

### ① 再生ボタンを押す

「再生 / 一時停止」ボタンを押すと、最後に録音したデータが再生されます



### 【ヘッドフォンで聴くには】



H essential の「ヘッドフォン / ラインアウト」端子に繋がります（音量は「ボリューム」で調整します）

### ② 別の録音データを聴く方法

ファイルリストから録音データを選び、再生します



「停止」ボタンを押して、再生中の演奏を止めてから「早送り」ボタンを押します



すると、このように「ファイルリスト」に録音したデータが表示されます



2つの青いボタンでリストを上下にスクロールさせて、希望のファイルを選択できたなら、「再生 / 一時停止」ボタンで再生します

## ～知っておくと便利な機能～

### 【マーカーの活用法】

演奏中に何度も「録音」と「停止」を繰り返すと、録音データを聴き直す際に「どれが今聴きたい演奏だっけ？」なんてことになりがちです。そんな時は「曲が変わったタイミング」で「マーカー」ボタンを押しておく、後から「早送り」や「早戻し」ボタンでマークした位置に移動して、再生することができて便利です



# #3 録音データをスマホに転送する

## 📱 手軽な USB 接続がおすすめ

### ① ファイル転送の設定を行う

H1essential 側面にある「メニュー」ボタンを押して、「USB」→「ファイル転送」→「スマートフォン/タブレット」の順に選択します



### ② USB ケーブルをスマホに接続

スマホからH1essentialの中身を確認できるようにします

※ iPhone 14 以前の場合は、別途 Lightning - USB カメラアダプタを利用して USB 接続してください。Lightning - USB-C ケーブルは使用できません



#### 【iPhone】



「ファイル」→「ブラウズ」→「場所」の中に外部ストレージとして、H1essential が認識されます

#### 【Android】

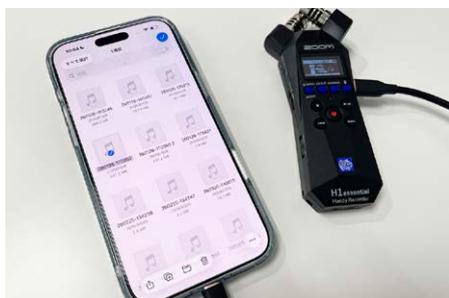


「マイファイル (またはファイル)」中に外部ストレージとして、H1essential が認識されます

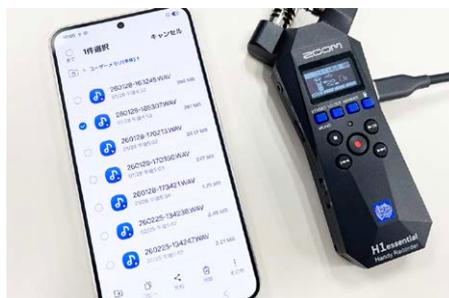
### ③ ファイルをコピーして聴く

録音データ (音声ファイル) を選び、スマホにコピーします

#### 【iPhone】



#### 【Android】



# Q&A

## Q. SDカードの容量はどのくらいあればいいの？

A. H1essential で最も高音質な 96kHz / 32bit フロートの WAV 形式で録音した場合、16GB の SD カードで約 5 時間の録音が可能です。なお、ズームの公式サイト (H1essential のサポートページ) では、動作確認済みの SD カード (microSDHC / microSDXC) も掲載していますので、そちらもご参照ください

## Q. 録音した音がとても小さいのですが

A. 32bit フロートで録音すると、録り音が小さく聴こえることがありますが、データには全ての音がしっかり残っています。再生時に音量を上げるか、本体機能の「ノーマライズ」を実行すれば、適切な大きさに調整できます

## Q. 録音したデータを部員全員に配るにはどうすればいい？

A. パソコンやカードリーダー経由でスマホに保存して共有できます。ただし、H1essential で録音した WAV 形式のファイルは高音質ゆえに容量が大きいため、注意が必要です。LINE など送信する際は、本体機能の「エクスポート」またはパソコンやスマホのアプリから MP3 形式に変換しておくともスムーズです (※)

## Q. H1essential は MP3 形式で録音できますか？

A. はい。「メニュー」ボタンを押して「録音設定」の「フォーマット」から 3 種類 (MP3 128kbps、MP3 256kbps、MP3 320kbps) の MP3 形式が選択できます (※)

## Q. 32bit フロートって？

A. 大きな特徴は 2 つあります

(1) マイク性能の限界を超えない限り「音割れ」しません  
吹奏楽は、大きな音の金管楽器や打楽器が入ると、これまでのレコーダーでは「バリバリッ」と音が割れてしまいがちでした。H1essential なら、どんなに迫力ある合奏でも、音を歪ませずにそのままの迫力で記録できます

(2) 事前の「レベル合わせ」が不要です  
これまでは演奏前に「一番大きい音を出してみよう」と音量をチェックしていましたが、その手間が一切なくなります。録音ボタンを押すだけで、小さな音から大きな音まで全部きれいに拾ってくれるので、準備の時間を短縮して練習に集中できます

※ MP3 形式のファイルへの変換や録音は H1essential のシステムが Ver 2.0 以上である必要があります。  
本体を起動した際に表示されるバージョンが古い場合は、H1essential 公式サイトサポートページからアップデートしてください